

事業番号	06 05 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	自然公園施設整備事業	部局	環境部	課・室	自然保護課				
		実施期間	S33 ～	E-mail	shizenhogo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

自然公園内の登山道やトイレ等の公園施設は、国、県、市町村の他、山小屋関係者等の公益的活動により整備されており、自然公園の適正な利用・保全に寄与している。しかし、施設の多くは過酷な自然環境にさらされ、老朽化や破損が進んでいる。このため、国及び市町村や山小屋関係団体との協働により継続的な施設整備を図る必要がある。

2 事業目的

自然公園や自然歩道において、適切な整備を行い、公園等の施設利用者の安全性や利便性を確保する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①自然公園内の施設整備の推進
- 自然環境の保全や公園利用者の受け入れ環境を整備するため、登山道及び付帯施設（標識等）の整備、木道・公衆トイレ等の改修や、利用拠点施設のデジタル展示やインバウンド受入環境整備を支援。
- ②寄付金等を活用した登山道等の整備、維持補修
- 山岳環境の保全と持続的な利用を推進するため、市町村や山小屋関係団体が実施する登山道等の整備・補修や山小屋が実施する山岳トイレの維持・補修等に係る費用を支援。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度			R6年度			R7年度			R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	自然公園等の施設整備	箇所	17	17	→				18	↗		25	未達成	公園計画に基づき、事業主体（県、市町村）で要望した箇所を目標値とする。
②	寄付金を活用した登山道等の整備	箇所	40	30	↘				19	↘		19	達成	市町村、山小屋関係団体から要望があった箇所を目標値とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	自然公園利用者数	万人	2023 (R5)	3,538	2024 (R6)	3,709	2025 (R7)	3,791	2027 (R9)	3,820

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	274,744	160,903	10,122	445,769	64,455	348,908	8.4
R6年度	83,677	487,262	△ 119,124	451,815	55,631	170,846	8.4
R5年度	44,344	386,406	△ 232,336	198,414	18,178	108,014	8.4

事業番号	06 05 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	自然公園施設整備事業		部局	環境部	課・室	自然保護課	

7 主な取組実績と成果

① 自然公園内の施設整備の推進

・ハヶ岳中信高原国定公園内（美ヶ原高原）における、公衆トイレの改修など、自然公園内の施設整備を推進した。

【施設整備箇所数】

- ・国立公園内：7
- ・国定公園内：7
- ・県立公園内：2

【県有施設の修繕・改修等】

- ・施設整備 2箇所
- ・設計業務 3箇所



【公衆トイレ改修の様子】

② 寄付金等を活用した登山道等の整備、維持補修

・ふるさと信州寄付金等を活用して、市町村、山小屋事業者等が実施する登山道その他必要な施設や高山植物を保護する施設の整備を支援し、山岳環境の保全を推進した。

【山域別支援箇所数 19箇所】

ハヶ岳：7 中央アルプス：1 御嶽：4
北アルプス南部：1 北アルプス北部：5 戸隠：1



【ハヶ岳（県界尾根周辺登山道）整備の様子】

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	自然公園等の施設整備	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
国庫補助金の内示割れにより実施を先送りにした箇所、事業計画の変更を行う必要が生じ不測の日数を要した等の理由により事業が繰越となった箇所があったため、目標値には届かなかった。							
指標②	寄付金を活用した登山道等の整備	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	達成
市町村、山小屋事業者等に対し早期に補助金交付決定することで適切な工期を確保できるよう努めたことにより、事業要望通りに実施できた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・国交付金の内示率が低い水準で推移しており、十分な支援が得られず整備を断念・先送りせざるを得ない状況である。
- 内示率 R7：国立85%、国定55%
R6：国立32%、国定38%
R5：国立45%、国定38%

(2) 事業改善の方策

- ・入札差金の発生などにより不用となった予算については他の箇所に流用するなど、引き続き予算の有効活用に努める。
- ・十分な予算を確保するよう、国へ引き続き要求していく。

事業番号	06 05 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	自然公園施設整備事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

細事業No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	自然公園施設等整備事業			18,959 千円	35,619 千円	107,853 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	県有施設の改修等	直接	自然公園及び自然歩道における県有施設について、適切な施設整備を行い、公園等利用者の安全性や利便性を確保 施設整備：2箇所、設計業務：3箇所			

細事業No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	自然環境整備支援事業			61,433 千円	99,111 千円	166,533 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	国立公園整備事業	補助金	国立公園において、市町村が実施する施設整備（設置、改修）等に係る経費を補助 補助率：1/2以内（国費） 整備支援箇所：7箇所			
2	国定公園等整備事業	補助金	国定公園等において、市町村が実施する施設整備（設置、改修）等に係る経費を補助 補助率：45/100以内（国費） 整備支援箇所：7箇所			
3	県立公園整備事業	補助金	県立自然公園において、市町村が実施する施設整備（設置、改修）等に係る経費を補助 補助率：1/2以内（県費） 整備支援箇所：2箇所			

細事業No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	ふるさと信州寄付金等活用山岳環境保全事業			23,500 千円	27,219 千円	18,719 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	登山道及び付帯施設の整備等	補助金	登山道及び付帯施設の整備等に係る経費を補助 事業主体：市町村 補助率：45/100以内（材料費、工事請負費） 整備支援箇所：11箇所			
2	登山道及び付帯施設の維持・補修等	補助金	登山道及びトイレ並びにそれらに付帯する施設の維持・補修等に係る経費を補助 事業主体：山小屋関係団体 補助率：1/2以内（労務費）、10/10以内（材料費、工事請負費） 整備支援箇所：8箇所			
3	市町村・山小屋関係団体等の連絡体制の整備	補助金	山岳関係者、関係行政機関の情報交換、情報共有を図るため、長野県山岳環境連絡会を開催 連絡会開催：1回			

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	登山道災害復旧早期支援事業	3,572 千円	0 千円	5,808 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	被災した登山道の災害復旧工事を支援	補助金	登山者、自然公園利用者の安全を確保するため、市町村等が実施する指定登山道の早期災害復旧に係る経費を補助 支援箇所：1箇所	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	志賀高原自然保護センター再整備事業	－ 千円	0 千円	49,995 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	志賀高原自然保護センターの改修	補助金	山ノ内町が実施する志賀高原自然保護センター改修に係る経費を補助 補助率：地方負担額の1/2（県費） 志賀高原自然保護センターの改修	